

第1問

A

問2 《ポイント》 ou 頻度第4位!

📖 「9割GET」375~376ページ。  
「発音・アクセント資料」8ページ。

- ① [ʌ]…「ア」  
(ex) enough[イナフ]「十分な」    cousin[カズン]「いとこ」    courage[カリッジ]「勇気」  
      tough[タフ]「丈夫な」        country[カントリー]「国」    trouble[トラブル]「もめごと」
- ② [aʊ]…「アウ」  
(ex) blouse[ブラウス]「ブラウス」    bough[バウ]「大枝」        plough[プラウ]「耕す」  
      county[カウんティ]「州」「郡」    trouser[トラウザー]「ズボン」    hour[アウワー]「時間」  
      flour[フラウアー]「小麦粉」    ounce[アウンス]「オンス」
- ③ [u]…「ウ」  
(ex) would[ウド]    should[シュド]
- ④ [u:]…「ウー」  
(ex) route[ルト]「道筋」    through[スルー]「～を通過して」
- ⑤ [ɔ:]…「オー」  
(ex) fought[フォート]「fightの過去形・過去分詞形」    cough[コフ]「咳(せき)」  
      thought[ソート]「thinkの過去形・過去分詞形」
- ⑥ [ɔ:]…「オウ」  
(ex) though[ゾウ]「～けれど」

※このうち頻出は①と②。ただそれ以外もしっかり読めるようにはしておきたい。

問3 《ポイント》 「i r+ 子音」「e r+ 子音」「u r+ 子音」

📖 「9割GET」381~382ページ。

これらは全て [ə:r] (口をあまり開けずにノドの奥の方で「アー」)。

- (ex) circle[サークル]「円」        term[ターム]「期間」        clergy[クレージ]「聖職者」  
      hurt[ハート]「怪我をさせる」    absurd[アブサード]「馬鹿げた」

それから occur(「起こる」)も「ə:r」つまり「オカー」と読む。要注意。

B

《ポイント》

- (1)カタカナ英語をおさえる。
- (2)語尾で判断できるアクセント発見術をマスターする。

📖 「9割GET」 400~403ページ。

①直前の音節にアクセントがある語尾。

「イティ・イク・イカル・ション」と覚える！

**-ity   -ic   -ical   -tion/sion**

-ety   -ics   -ial   -ian -tical  
-ual   -ient

[例外] ①politic   ②politics   ③lunatic   televisicn   spiritual  
「政治的な」   「政治(学)」   「狂人」   「テレビ」   「精神的な」

④Arabic   ⑤Catholic   ⑥arithmetic   rhetoric  
「アラビアの」   「カトリックの」   「算数」   「修辞学」

②2つ前の音節にアクセントがある語尾。

「アテグラミズムアスティヴファイ」と覚える！

**-ate[-at]   gram   -ism   -ous   (暗+)tive   -fy**

-ude   -graph   -asm  
-ite   -ize  
-ute   ☞tributeは例外。

[例外] adequate   disastrous   enormous   impolite   patriotism  
「十分な」   「災害の」   「巨大な」   「無作法な」   「愛国心」

## 第2問

### A

第2問Aの頻出ジャンルは

📖「9割GET」1ページ。15ページ。

- ①イディオム
- ②動詞の語法
- ③単語問題(類義語系問題を含む)
- ④時制

近年、文法単元別の中では「接続詞」「代名詞」に関する出題が増加傾向にある。

問1 《ポイント》 過去完了形の用法。

📖「センター文法・語法スーパーチェック」21ページ。

現在完了が、現在を最終到着地点(基準点)として、現在までの「完了・結果」「経験」「継続」を表したが、過去完了は、過去のある一時点を最終到着地点(基準点)として、その時までの「完了・結果」「経験」「継続」を表す。

現在完了の基準点が「現在」なので、それが「過去の一時点」に移動したものと考えればよい。

見方を変えれば「過去の一時点までの"時の幅"」を表すと見ることもできる(もちろん話者の心の視点は「その過去の一時点」にあり、そこからそれ以前を振り返っている)。

※「完了=時の幅」。ということは、過去完了は「過去(の一時点)までの時の幅」、即ち過去(の一時点)を最終到着地点(基準点)として、そこまでの時の幅(具体的には「結果・完了、経験、継続」)を表すのだ。

問2 《ポイント》

(1)前置詞の後には「名詞」が基本。「S+V」「不定詞」「動詞」等はこれない。

📖「9割GET」103ページ。

前置詞 +  $\left\{ \begin{array}{l} \bigcirc \text{「名詞(の仲間)」} \\ \times \text{「S+V\sim」「V\sim」} \\ \times \text{「to do[原形]\sim」} \\ \times \text{「前置詞」「副詞」「形容詞」等} \end{array} \right.$  ※名詞の仲間とは、「代名詞」「動名詞」「名詞節(whether節・疑問詞節など)。

(2) But S+V~, S+V... という形はあり得ない。

(3) Although S+V~, S+V... で「~だけれど、…」

However S+V~, S+V... で「どんな方法で[ふうに]~しようと、…」

📖「センター文法・語法スーパーチェック」57ページ。

問3 《ポイント》

(1)「その英文の動詞の数 - 1 = その英文の(従位)接続詞・関係詞・疑問詞の数」

📖「9割GET」30ページ。

(2)bring up A で「Aを育てる」。📖「センター文法・語法スーパーチェック」73ページ。

(3)文法問題における分詞の選び方の基本。

📖「センター文法・語法スーパーチェック」42ページ。

分詞が名詞を(直前直後から)修飾している場合には、修飾する名詞に対して

①「能動(～する・している)」の意味関係になるならdoing(動分詞)を用いる。

(ex) Look at the little boy nodding[×nodded] in the corner.  
あのすみっこで居眠りしている小さな男の子を見てごらん。

②「受身(～される)」の意味になるなら p.p.(過去分詞)を用いる。

(ex) The tests given[×giving] to the students were very difficult.  
生徒に渡されたテストはとても難しかった

#### 問4 《ポイント》

直前の「肯定文」を受けて、「Sもまた～だ」を「So+V+S」という形で表せる。  
また、直前の「否定文」を受けて、「Sもまた～ない」は「Nor[Neither]+V+S」という形で表せる。  
☞「センター文法・語法スーパーチェック」36ページ。

① S<sub>1</sub>+V～ ⇒ So+V+S<sub>2</sub>  
「S<sub>1</sub>は～だ」[肯定] 「S<sub>2</sub>もまた～だ」

② S<sub>1</sub>+not+V～ ⇒ Nor[Neither]+V+S<sub>2</sub>  
「S<sub>1</sub>は～ない」[否定] 「S<sub>2</sub>もまた～でない」

注意してほしいのは、SoやNor[Neither]の後の動詞は前の文の動詞の種類に合わせるという点。

#### 問5 《ポイント》

make sure (that) S+V～ で「確実に～するように(手配)する、取り計らう」。  
☞「センター文法・語法スーパーチェック」92ページ。

#### 問6 《ポイント》

- (1)make progress で「進歩する」。
- (2)be ahead of A で「(時間的に)Aより前に」。

#### 問7 《ポイント》

- (1)thanks to A で「Aのおかげで」。  
☞「センター文法・語法スーパーチェック」29ページ。
- (2)空欄直後に comments という名詞があり、空欄に入る語はそれを修飾している。  
名詞を修飾できるのは形容詞。選択肢の中で形容詞は①(friendly)のみ。

<b>lively</b> 「生き生きとした」	costly「高価な」	<b>friendly</b> 「友好的な」	lovely「可愛い」
manly「男らしい」	lonely「孤独な」	cowardly「臆病な」	<b>likely</b> 「可能性がある」「見込みのある」
timely「時を得た」	early「早い」	<b>cleanly</b> 「きれい好きな」	sickly「病弱な」

※earlyには、副詞としての用法もあり。以下は「早く」という副詞のearlyの例。  
(ex) I got up early. 私は早起きをした

※unlikelyは「ありそうにない」(もちろん形容詞)。likely[unlikely]は  
①be動詞+likely[unlikely]  
②likey[unlikely]+名詞

という形で用いられる。  
ただlikelyについては、副詞として使われることもある。その場合「おそらく」という意味でprobablyと同じ。要注意。以下は副詞のlikelyの例。

(ex) Most likely, she will refuse the offer.  
彼女はおそらくその申し出を断るだろう  
He will likely be in Paris tomorrow.  
彼はたぶん明日はパリにいるだろう

問8 《ポイント》

- (1)required は「必修の」。  
(2)until は「～まで(は)」。  
☞前置詞・接続詞両方の用法あり。  
☞「センター文法・語法スーパーチェック」56～57ページ。

問9 《ポイント》

- (1)fossil fuel は「化石燃料」。  
(2)used to do[彫]～ で「(昔)よく～したものだ」。  
☞「センター文法・語法スーパーチェック」70ページ。  
(3)nowadays は「今日では、近ごろは」という意味で、現在時制で使われる。  
(ex) We do it differently nowadays.  
近ごろではそのやり方は違っています

問10 《ポイント》

- (1)It is 形容詞 … to do[彫]～の構文において、It is の後に「人の性質(格)を表す形容詞」が入ると、直後の前置詞は「of」になる。  
☞「センター文法・語法スーパーチェック」33ページ。  
(ex) It is honest of [×for] him to say such a thing in public.  
人前でそんなことを言うなんて彼は正直な人だ

B

第2問Aの頻出ジャンルは

☞「9割GET」89ページ。

- ①イディオム・構文
- ②動詞の語法
- ③語順・英文構成

問1 we're wondering if you could tell us how to get to the theater.

《ポイント》

(1)we are wondering if you could+do[原形]~ で「～していただけますか」という、とても丁寧な依頼を表す表現になる。同様の意味の表現として

I was wondering if you'd like[care] to do[原形]~.

などもある。

☞「頻出会話表現のまとめ」4ページ。

(2)tell O<sub>1</sub> (人) O<sub>2</sub> (物) で「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を伝える、教える」。

☞「センター文法・語法スーパーチェック」10ページ。

問2 let me send the details by email.

《ポイント》

(1)let+C+do[原形]~ で「Oに(許して)～させる、Oが～するのを許す」。

☞「センター文法・語法スーパーチェック」15ページ。

(2)send O<sub>1</sub> (人) O<sub>2</sub> (物) で「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を送る」。

問3 I came to realize the need to manage my time more effectively.

《ポイント》

(1)come to do[原形]~ で「～するようになる」。

ちなみに become は become C[名詞・形容詞・分詞] で「Cになる」。

become の後に不定詞はこない。

(ex) Little by little, she came[xbecame] to like him.

少しずつ彼女は彼のことが好きになっ(てい)た

☞「センター文法・語法スーパーチェック」85ページ。

(2)the need to do[原形]~ で「～する必要性」。

(3)realize は「～に気付く、～を悟る」。

C

問1 , so I don't think our teacher will allow us to light a fire.

《ポイント》

(1) think (that) S+V~ で「～すると思う」、don't think (that) S+V~ で「～しないと思う」。think (that)+否定文. という表現は普通好まれない。

(2)allow O to do[原形]~ で「Oが～するのを許す」。

☞「センター文法・語法スーパーチェック」66ページ。

(3)agree は、後ろに「人」を取る場合、agree with A(人) で「Aに同意する」となる。  
他の語法としては agree to A(提案)、agree to do[原形]～、agree that S+V～ などがある。

問2 No one is more talented than you.

《ポイント》

(1)原級比較・比較級を使って最上級と同じ意味の表現ができる。

📖「センター文法・語法スーパーチェック」54ページ。

S+V the ~est of[in]… 「Sは…のうちで最も～だ」という最上級の構文を「比較級」や「原級比較」を用いて書き換える場合、以下の2種類の書き換えが可能。

① ⑤ + ⑥ +  $\left\{ \begin{array}{l} \text{as[so]}\sim\text{as} \\ \sim\text{er than} \end{array} \right\}$  any other+単数名詞・「⑤は他のいかなるOOより(と同じく)～だ」  
[all the other+複数名詞]

※any other thing「他の何物よりも」=anything else  
any other person「他の誰よりも」=anyone[anybody] else

② No+(other)+単数名詞 + ⑥  $\left\{ \begin{array}{l} \text{as[so]}\sim\text{as} \\ \sim\text{er than} \end{array} \right\}$  +A . 「Aほど～なものはない」  
⑤

※「No+(other)+単数名詞」は「Nothing」「No one」などになることもある。

(2)「～のうちで」に of を使うか、in を使うかは後に続く名詞で決まる。

①in の後には「範囲(クラス・家族・場所など)」を表す単数名詞がくる。

(ex) He is the tallest boy **in** his class.

Mt. Fuji is the highest mountain **in** Japan.

②of の後には「構成要素」を表す複数名詞や複数扱いの名詞(people等)がくる。

(ex) He runs the fastest **of** all students in his class.

(3)Come on. は、相手がこちらの思うような反応を示さない場合に用い、(話者の)イライラ感を表す(「頑張れ、しっかりしろ、元気を出せ」といった、相手に対する励ましや鼓舞を表すこともある)。また、「かかってこい」「いい加減にしろ」といった意味になることもある。

📖「頻出会話表現のまとめ」14ページ。  
📖「9割GET」60ページ。

問3 Well, maybe we should get someone else to teach him.

《ポイント》

(1)get O to do[原形]～ で「Oに～させる[してもらう]」。

📖「センター文法・語法スーパーチェック」67ページ。

(2)take には take O to do[原形]～ や take O do[原形]～ といった語法はない。

take が(不定詞と共に)SVOOCをとるのは take O to be C で「OをCとみなす」という語法でのみ。

(3)ちなみに SVOOCのCに「動詞の原形」が来る動詞は以下の5種類。

📖「センター文法・語法スーパーチェック」67ページ。

- ① make+C+do[原形]～ 「Oに～させる [強制]」 =force+C+to do[原形]～  
 ② let+C+do[原形]～ 「Oに～させる [許可]」 =allow[permit]+C+to do[原形]～  
 ③ have+C+do[原形]～ 「Oに～させる(してもらう)」 =get+C+to do[原形]～  
 ④ help+O(人)+do[原形]～ 「Oが～するのを手伝う」 =help+O(人)+ to do[原形]～  
 ⑤ 知覚動詞+O+do[原形]～ 「Oが～するのを見る(聞く、感じる等)」

(4)肯定文における anyone は「だれでも」。

(ex) Anyone can do it if he tries.

だれでもやってみればそれができる

Take it to anyone (that) you like.

だれでも好きな人にそれを持って行ってあげなさい

### 第3問

#### A 解法のポイント。

- (1)会話の内容から、そのシチュエーション(状況・場面設定・話者同士の人間関係等)を予測する。
- (2)□前後のセリフをしっかり読んで(シチュエーションも加味し)、会話の5つの「流れ」(具体的には下記)のいずれかでつながりうる選択肢がないか見てる。
  - ①「質問と応答」                      ③「添加[付け足し]」                      ⑤「因果」
  - ②「具体例」「言い換え」            ④「対比[逆接]」

※シチュエーションを加味すれば、「流れ」は(5つより少なく)絞り込めてしまえることも多い。
- (3)空欄の前後、特に後ろ(の文)に解法の最大のヒントがあることが多い。
- (4)頻出の会話の決まり文句をおさえる。
- (5)「省略」や「Yes No」等の会話のルールを覚える。

#### 問1 《ポイント》

- (1)so that S will do[彫]～ で「Sが～するために」。  
    📖「センター文法・語法スーパーチェック」58ページ。
- (2)S+V away[aside] ～ / S+V～ away[aside] は、「～を遠ざける[捨てる・どかす・取り除く・片づける]」。  
    ※away の場合はそれでいいが、aside の場合、「①～を取り除く[捨てる・片づける] ②(後で必要なので)～を取っておく」の2つの可能性がある。

#### 問2 《ポイント》

- (1)There is no[little] point in doing～ で「～しても(ほとんど)無駄だ」。  
    📖「センター文法・語法スーパーチェック」31ページ。
- (2)make it には以下のような意味がある。
  - ①「成功する、うまくやる」            ③「(会等に)出席する」
  - ②「(列車に)間に合う」                ④「(目的地に)たどり着く」

    📖「頻出会話表現のまとめ」15ページ。

#### B 解法のポイント。

- (1)解法のヒントは「論理」「指示語」「文脈」の3つ。
- (2)「論理」について。
  - ①文章同士は論理的(「順接」「逆接」「因果」のいずれか)にしか結びつかない。
  - ②頻出の論理マーカーとそれが導く論理をおさえる。  
    ⇒「頻出論理マーカーのまとめ」をHPからDLして知識を深めよう。
- (3)「指示語」は以下に注意する。
  - ①「冠詞」の変化。
  - ②「名詞(→代名詞)」の変化。
  - ③「副詞」の変化。

- ④直前の内容の具体例[理由]であることを示す語句がある。
- 1.固有名詞
  - 2.数詞
  - 3.(そこまでの流れとは一見無関係に見える)突然関係ない話

(4)「文脈」について。

- ①「文脈がうまく合っている[流れている]」というのは、「そのパラグラフ[段落]で語られる『テーマ』『主張』(特に『テーマ』)と関連性をもって文章がつながっている[流れている]」こと。
- ②「テーマ」が示される場所。
  - 1.パラグラフの冒頭部
  - 2.逆接語で始まる文
 

※特に第2文が逆接語で始まっていた場合、その第2文が「テーマ」を示している可能性が高い。
- ③問題文を読む場合、上記の部分にまず着目し、「文脈」を追う[の流れを読み取る]カギとなる「テーマ」をしっかりキャッチすることが大切。

(5)「文脈」がヒントになる問題が最も多い。

問1

【全訳】

「日本の学生たちは、現在では授業において実践的な活動をより多くこなし、事実の暗記というのは少なくなってきている。学生たちは実体験を通して科学法則を学んでいる。

①彼らは、世界の他の学生たちと比べると理科の成績が良い。②彼らは針金や磁石、クリップのような日用品を使って電気モーターを作る。③塩と氷でアイスクリームを手作りする。④学生たちは、楽しくてためになるだけでなく実用的なので、そのような学習スタイルが好きだと言っている。新しい方法によって、学生たちが科学にもっと興味を持つことが期待されている」

問2

【全訳】

「試行錯誤は、科学で用いられる方法の1つだが、日々の生活の中でもそれはしばしば見られる。それが観察されるのは、人々が気分が良くないときである。人々は以前に使ったことのある治療法のリストを、既に持っている可能性がある。また医学書を調べてみたり、インターネットを検索して、新しい治療法を探すこともできる。そうした治療法のどれかを使うことにすることもあるかもしれない。①その治療法で体調が良くならなければ、別の治療法を試す。②人々はその治療法がどれほど科学的であるかを気にかけている。これは、いかにこの方法が日常生活で取り入れられているかを示す例である。③問題を解決する際に、科学者たちは2つ以上の案を考え出し、可能な選択肢の中の1つを用いる。

④1つの案がうまくいかないときは、他の選択肢を考える。このように、科学と日常生活の中で用いられる方法には、いくつかの共通点がある」

### 問3

「いくつかの」「いろいろな」という形容詞がついた名詞は、直後で具体的に言い換えられることが多い

※「いくつかの」にあたる形容詞は、具体的には several, some など。類語としては「2、3の」という意味の a few など。「いろいろな」にあたる形容詞は different, various, varying, varied, a variety of など。

📖 「9割GET」154ページ。

#### 【全訳】

「食べ物というのは、私たちの胃袋を満たす以上のことをしてくれる。つまり、感情も満たすのである。空腹でないときに、それらの感情を食べ物で満たそうとすれば、これは、エモーションナル・イーティングとして知られるものである。感情的な飢餓と肉体的な飢餓には、いくつかの重要な違いがある。①感情的飢餓と肉体的飢餓は、共に食べ物で排除しようとする空虚感の信号である。②感情的飢餓は突然やってくる。その一方肉体的飢餓は、徐々に起こる。③感情的飢餓は、自分が望む食べ物ですぐに対処しなければならないように感じられるが、肉体的飢餓には待つ余裕がある。④エモーションナル・イーティングは、後に罪悪感を残すことがあるが、肉体的飢餓による食事はそうではない。感情的飢餓は食べ物で完全に満たされることはあり得ない。その瞬間は食べることで気分が良くなるように感じられても、飢餓を生じさせた感情は依然として存在しているのである」

### C 解法のポイント。

- (1)まず日本語の問題説明部分から「テーマ」を確認する。
  - (2)(第1発言者の発言の前の)冒頭の数行は、読まなくていいことがほとんど。
  - (3)次に3人の発言の、まずここを読む。
    - ①第1文[冒頭文]
    - ②最終文Ⓢ第1文[冒頭文]、最終文が(指示語などが使われ)内容を十分把握できない場合は、その前後を読むのはかまわない。
  - ③逆接語で始まる(もしくは逆接語が挿入されている)文
  - ④「私は思う」系のフレーズを含む英文
- (4)上記の箇所を読んで、発言者の主張が読み取れたら、その時点で選択肢を読んで正解を出す。
- (5)上記を読んでも発言者の主張が読み取れない時は、以下のフレーズを含む文が発言中にないか見てみる。
  - ①主観的な判断(「良い」「悪い」など)を表す形容詞
  - ②For example[instance](例えば)、For S+V~(というのは~だからだ)といった具体例や理由[論拠]を示す語句の直前
  - ③「~のように見える[思われる]」系のフレーズを含む文
  - ④強制力の強い助動詞を含む文
- (6) (3名の) 発言者のうち、最初の2名が「賛成」なら、3人目は「反対」、逆に最初の2名が「反対」なら、3人目は「賛成」(あるいは「中立」)の主張をするはず。
- (7)正解の見つけ方は、(迷ったら)「消去法」がベスト。

【全訳】

教授 : おはよう。全員が課題の文献には目を通したと思います。なので、今日の異文化間コミュニケーションに関する授業を始めたいと思います。私の最初の質問は、「なぜ私たちは異文化間コミュニケーションを勉強する必要があるのか」です。誰か答えたい人はいますか？

学生 1 : はい、私がそれに答えようと思います。人は自分の物事のやり方や世界の見方が「自然」で「正しい」と思うかもしれませんが。物事のやり方が違う人に出会うと、人はそれを「奇妙だ」とか「間違いだ」と見なします。異文化間コミュニケーションの意識を持つことは、誤解が起きたときに私たちがそれを理解して対処する手助けとなりえます。私がそれが特に今日において重要だと思うのは、人々が仕事や勉強、休暇など、多くの理由で海外に出かけるからです。他の国の人々に会う機会は非常に増えています。これほど接触が増えると、異文化出身者の間でトラブルが起こる機会がもっと多くなります。

教授 : その通りです。君の言ったように、異文化間コミュニケーションを勉強することが役立つのは、④私たちが文化的な誤解をもっと容易で円滑に処理できるからですね。

教授 : 話を「文化」という概念に移しましょう。君たちは、文化というものは、常に私たちを取り巻いていますから、定義するのは難しいということはわかっていると思います。それ故、私たちは文化を特徴面から議論する傾向があります。誰か文化的特徴の事例を挙げられますか？

学生 2 : 私が面白いと思った特徴は、ある文化に属する人々には同じ価値観信念、行動があるということです。価値観とは、日本の「もったいない」という概念のように、価値があると思われる物事のことです。信念とは、人々が真実であると信じている物事で、これは多種多様な領域に及びます。例えば、ある文化の人々は、許容できない食べ物の種類に関する信念を、共有しているかもしれません。行動は人々の行為に関するもので、同じ文化の人々は同じように振る舞うことがよく見られます。

教授 : 良い説明です。それはつまり、④共有される行動によって、人はある文化集団の一員になるのかもしれないということです。

学生 3 : 1つ質問してもいいでしょうか？

教授 : もちろん。

学生 3 : いつも周囲の人間と違って見える人は、どうなるのでしょうか？時々私のやり方は、友人とは違うことがあります。ですから、集団員として認められるために同じ行動をしなければならないとするなら、同じでない人たちは、自分の文化集団の一員ではないということになるのでしょうか？

教授 : それはいい質問ですね。これに答えるには、個々の例ではなく文化規範の観点から考える必要がありますね。

学生 3 : 文化規範って、何ですか？

教授 : そうですね。文化規範とは、文化集団の構成員たちが共有している行動上の規則や基準のことです。

学生 3 : で、その文化規範に従わない人々は、どうなるのですか？

教授 : まあ、彼らはもっと小さな集団、つまりサブカルチャーの集団に属するというこ

とになるかもしれませんが、それでもその集団はその文化の一部と見なされます。彼らの行為がその特定の文化にとって受け入れられる行動の範囲内にある限り、このことは当てはまります。

学生3 : では、① 1つの文化には複数の集団があり、そしてそれらがひとつのより大きな集団を構成していると考えてよろしいでしょうか？

教授 : そうです。これで、君たちにとって状況が明らかになったのではと思います。よろしい。これで私たちはさらに続けて、文化のもう1つの特徴について考える準備ができたと思います。

## 第4問

### A 解法のポイント。

- (1)まず本文【問題文】を読む前に設問、選択肢に目を通す。  
設問、選択肢に目を通す際、キーワード(と思われる語句)に下線を引いておくといい。  
下線を引いたキーワードが本文【問題文】中に現れだしたら、そこが設問の対応箇所である可能性が高い。キーワードとは、**主要品詞、つまり「名詞」「動詞」「形容詞」「副詞」**等。  
會中でも**「名詞」は最大のキーワード**。  
(設問はしっかり読むべきだが)選択肢の方は
  - ①短いものは全部読む。
  - ②長いものはキーワードに下線を引くにとどめる。
- (2)本文中で行われた調査【研究】、実験の「目的」や「手法」を問うような設問があれば、それに対する対応箇所は、**本文【問題文】の前半(グラフや図表が現れる前)**にあると見ていい。
- (3)設問から、グラフ・図表の対応箇所が分かる場合には、本文を読む前にグラフ・図表中の設問に対応している箇所を確認しておく(分からなくても一応**グラフ・図表は事前にチェックしておく方がいい**)。
- (4)図表・グラフが未完成になっていて、その未完成部分が何を指しているかを問う設問の場合、本文中における(未完成部分を完成させる)ヒントは、**中盤(からそれ以降)にある**。
- (5)内容一致問題の場合は
  - ①選択肢は、時間がなかったら読まない(読んだとしてもキーワードに下線を引くくらいにとどめる)。
  - ②消去法で正解をあぶり出していく。
  - ③(これは内容一致問題以外でも言えることだが)、**「最も」「唯一の」「必ず」「絶対」「決して～ない」等の語(要する程度があまりに著しい語)**が使われている**選択肢は×であることが多い**。
- (6)次に本文【問題文】の各パラグラフ冒頭文に(長いパラグラフの場合は最終文も)目を通し、全体の「テーマ」「流れ(展開)」を確認する。  
※ただし「最終パラグラフの後に続く可能性が最も高い話題はどれですか」という設問がある場合は、(いくら短くても)最終パラグラフの最終文を読んでおく。
- (7)それが終わったら、その時点の情報で解ける設問、消せる選択肢がないか見てみる。
- (8)解ききれなかった設問については、もう一度キーワードを(この時点では選択肢も含め)チェックし、本文【問題文】中に対応箇所を探し出していく。
- (9)その結果、ある段落を全読みしなければならなくなったときは
  - ①基本は**「読みながら解きながら」**。
  - ②**分割読み**をして、分割したところまで読み進んだ時点で設問を見てみる。
- (10)本文【問題文】を全部読み終えていなくても、正解を出し終えてしまったら、もうそれ以上問題文を読み続ける必要はない。

## 【全訳】

アメリカ合衆国の消費者は、特に1900年代以降、新鮮な果物の輸入量とその種類の増加から恩恵を受けている。今日の食料品店の青果コーナーには、数十に及ぶ異なる新鮮な果物が一年中並べられていることが多く、そしてそれらは、国産の新鮮な果物を補うものとして世界各地から輸入されてくる。

新鮮な果物の急速な輸入の伸びは、合衆国の青果市場の多くの面に影響を与えている。例えば、オレンジは合衆国の第一の国産果実だが、合衆国のオレンジ輸入量は1900年代以降着実に増えており、合衆国の収穫物が凍りつくような天候を経験したときに、時折突然増加することもあった。（グラフ1参照）

合衆国の国内市場は、様々な国や地域からオレンジを輸入している。主な供給国のうちで、メキシコは長期に渡る輸入元である。しかし、年間を通じて合衆国の新鮮なオレンジに対する需要が高いため、特に国産のネーブルオレンジがとれない夏の数ヶ月間は、南半球の国々も、主だった供給国になっている。オーストラリアは、そのような第一の国で、1990年代初期の輸出開始に先立ち、合衆国政府からネーブルオレンジを合衆国に輸出する許可を得ていた。オーストラリアに続いて、1990年代後半には南アフリカが、そしてごく最近にはチリも加わった。

合衆国では、主に「ネーブルオレンジ」と「バレンシアオレンジ」という2種類のオレンジが国内で生産されている。ネーブルオレンジは、ほぼ種なしで、果肉がはがれやすく、水っぽくなく実がしまっており、生で食べるのに最も人気のあるオレンジである。ネーブルオレンジが合衆国の青果市場のオレンジ出荷量で占める割合は、2010～2012年の間で76%だった。それに比べ、バレンシアオレンジは、皮が薄く、時折種があり、水分の多い甘い果肉を持ち、同じ期間で24%を占めていた。合衆国一の青果市場向けオレンジ供給元として、カリフォルニア州は青果市場用ネーブルオレンジの87%と青果市場用バレンシアオレンジの81%以上を生産した。

国内の青果市場向けオレンジの主たる収穫期間は、11月から5月で、それはカリフォルニア州のネーブルオレンジが旬の時期である。しかし、国内向けに生産・出荷されるオレンジの量は6月から10月に著しく減少する。新鮮なオレンジの輸入がまだ国内消費のわずかな部分しか占めていなかった初期の年代では、ネーブルオレンジが旬ではない時期はバレンシアオレンジが人気品種だった。しかしグラフ2に見るように、南半球諸国からのネーブルオレンジの輸入は、夏季に合衆国を席捲するようになった。

季節ごとの生産パターンのために、メキシコのオレンジの大半は12月から6月にかけて合衆国の市場に届くが、この時期は合衆国の国内供給が比較的高い。対照的に、南半球諸国からの輸入の季節は主に7月から10月で、この時期は合衆国の国内供給が比較的低い。この傾向は他の多くの果物の場合に見られる傾向とよく似ている。

## B 解法のポイント。

(1)まず3つの設問とその選択肢に目を通す。この手順はAと同じ。ただし

- ①何が問われているのか
- ②答えを出すのに必要な情報はなんなのか

を頭に整理する。選択肢の内容が複雑な場合は、要旨を簡単にメモ書きしておく。

(2)必ずしも問1から順に解いていく必要はない。簡単な設問から答えを出していけばいい。

(3)内容一致問題などは、(第四問の)Aと異なり、

- ①全ての選択肢のキーワードをチェックし、下線を引く。
- ②選択肢の内容が複雑な場合、余白にメモ書きをする。

等して、(問題文中に)対応箇所を探すための情報を整理する。

(4)問題文[広告文]を読む際には、まず最初に広告文の「見出し」を確認しておく。設問との対応箇所を素早く見つけ出すヒントがえられることが多い。それから、(問題文の)欄外部分に何らかの情報があれば、それも最初にチェックしておく。

(5)設問の対応箇所を問題文[広告文]中に見つけたら、選択肢と対照させて正解を出していく。

【全訳】

オクタゴン美術館

オクタゴン美術館(OMA)は、絵画・彫刻・写真などの現代美術を取り上げた展覧会やプログラムをご提供しています。オクタゴン財団によって、1972年に設立され、多くの常設展示物を伴う膨大なコレクションを所有し、また特別展示やプロの芸術家・評論家による講演、児童向けの各種教室、専門家のご案内する館内ツアーなどもご提供いたします。

入館料：1人5ドル（6歳以下のお子様は無料）

プログラム料金：

ショートツアー (90分)	大人(18歳以上)	10ドル	毎日2回 午前9時・午後2時
	学生(7~17歳)	8ドル	
	子供(6歳以下)	無料	
総合ツアー (3時間)	大人(18歳以上)	20ドル	火曜日・土曜日 午前10時
	学生(7~17歳)	15ドル	
	子供(6歳以下)	無料	
スケッチ教室 (90分)	大人(18歳以上)	15ドル	月曜日 午後7時
	学生(7~17歳)	8ドル	水曜日 午後4時
	子供(6歳以下)	無料	水曜日 午前10時
写真ワークショップ (2時間)	大人(18歳以上)	17ドル	日曜日 午後7時
	学生(7~17歳)	12ドル	日曜日 午前10時

注意：

- － ツアー・教室・ワークショップの料金は入館料込み。
- － ツアー・教室・ワークショップには少なくとも1週間前には[こちら](#)で登録をお願いします。
- － 当館では「アート・トーク」（隔週土曜日 OMAホールにてゲスト講演者をお招きし、成人観客とお話します）もご提供しています。ご予約や追加料金は不要です。今月の予定については、[こちら](#)をクリック。

第5問 解法のポイント。

- (1)第5問は、設問の順序とストーリー展開が一致している。
- (2)まず設問に目を通し、キーワードをチェックする。
- (3)次に本文を読んでいく。基本は「読みながら解きながら」。
- (4)特に物語系の場合、「5W1H」を意識して読むことが大切(必要ならメモにとりながら読み進める)。そのポイントは以下の通り。
  - ①「5W1H」とは「誰(who)」「どこで(where)」「いつ(when)」「何を(what)」「なぜ(why)」「どのように(how)」。
  - ①登場人物同士の間関係も整理してみる(関係図をメモ書きするのもいい)。
  - ②セリフ等も、それが誰のセリフなのか毎度確認する。
  - ③he, she, they, it といった代名詞が指すものは誰[何]なのかも確認しながら読み進める。
  - ④登場人物のセリフ、行動などから、その性格、思考、心理を読み取る。
  - ⑤ストーリーの語り手(Narrator)の、どんな視点からストーリーが語られているのかを読み取る。
  - ⑥会話が多い場合には、繰り返しになる部分が省略されてしまっていることが多い。文法的に不完全な個所に出会ったら、省略の可能性を考慮して、もし省かれているものがあるならそれを補ってみる。
- (5)最悪「4分割方式」で。  
本文を4分割し、最悪本文の4分の1まで読んだところで、(一端読みを止め)解ける設問、消せる選択肢がないかチェックをする。

## 【全訳】

「私が大物になるだなんて誰も思わなかったよ」と、ジョンおじさんは、台所に立って、賞を勝ち取った4品料理のディナーをどのようにまとめるか私に見せながら言った。私は大学を卒業したばかりで、このディナーは彼から私への贈り物だった。有名シェフが私のために料理をしてくれるというのは、すばらしい気分だった。これに加えて、彼が数日中に全国放送のテレビ料理コンテスト「ザ・ビッグタイム・クックオフ」に出場することになっているため、私は興奮していた。

ジョンおじさんが若かった頃、彼の家族は田舎に住んでいた。彼の母親は地元の学校で教えていたのだが、ジョンおじさんが10歳のときに、彼女は年老いた母親の世話をするために仕事を辞めなければならなくなった。それまで、彼の父親は優しく、ジョンおじさんや2人の妹と一緒に遊んでくれる時間が十分にあった。しかし、請求書が積み重ねられて、家族はトラブルに陥った。ジョンの父親は、結局遠く離れた都市で仕事に就かなければならなくなり、そのため、父親が家に帰れるのは週末だけになった。

次第に、忙しい仕事のスケジュールのために、ジョンの父親は、家に帰ってくるときはいつも疲労の色を見せるようになった。実のところ、父親は上機嫌な人物から、始終不機嫌な人物に変わっていた。彼は家にいるときはただ休みたいと思うだけだった。彼はしばしば小さなことでジョンを叱りつけた。父親に受け入れられたいと思い、ジョンおじさんは最善を尽くそうとしたが、十分だと感じることは決してなかった。最終的に、父親を避け始めた。ジョンおじさんは友達とショッピングモールでぶらぶらするようになり、時々授業をさぼるようになった。少しずつ、ジョンおじさんの成績は下がっていった。両親と先生は、ジョンおじさんの将来のことを心配した。

ある日曜日の朝、ジョンおじさんの母親が自分の母親の世話をしに出かけている間、おじさんの父親が、テレビのある部屋でうたた寝をしていた。ジョンおじさんの妹たちがおなかを空かせていたので、ジョンおじさんは、彼女たちのために何か料理を作ろうとした。おじさんは料理のことがよくわからなかったが、父親を煩わせたくなかった。

突然台所のドアが開いて、彼の父親がそこに立っていた。「お父さん、起こしたのならごめんなさい。チェルシーとジェシカがおなかを空かせていたから、妹たちに卵を料理してやろうとしていたんだ」おじさんの父親は少しの間、おじさんを真剣に見た。「卵だって？卵は、今日のようないい天気の日曜日に昼食にするのはよくないな。裏庭でステーキを焼こう」「本当にいいの？お父さんは疲れているはずだけど」「大丈夫だ。料理は好きなんだよ。大学時代にコックのアルバイトをしていたときのことを思い出すなあ。おいしいステーキの作り方を教えてあげよう」ジョンおじさんが驚いたことには、おじさんの父親は料理を始めると元気になった。彼はジョンおじさんをそばに立たせ、料理はある意味で、科学プロジェクトのようなものだと細かく説明した。「材料を正確に測って、どの食材が合うのか知る必要がある。これをマスターすれば、とても多くの人々に喜びを与えることができる」ジョンおじさんは、久しぶりに父親に親近感を覚えた。そのときからずっと、ジョンおじさんが家で過ごす時間が増えた。おじさんは家族のため、その後は大学の友人のために定期的に料理をするようになった。ジョンおじさんは、料理をするときはいつも幸せだと感じ、そしてこの幸せがおじさんの人生の他の分野にあふれて広がっていった。

ジョンおじさんは、レストランの仕事をしながら大学を卒業し、結局は有名レストランのシェフになった。おじさんはその仕事が本当に好きで、一生懸命働いて独自の技術を開発した。おじさんは、とうとう独自のスタイルの料理を出す自分のレストランを開くことができた。おじさんは数々の賞を受賞し、金持ちや有名人のために料理した。

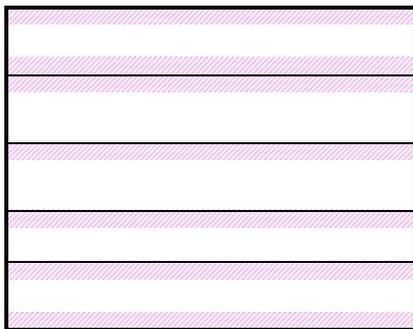
ここでコンテストの話に戻ろう。ジョンおじさんと私は、おじさんが選ばれたことに興奮した。それでもなお、おじさんは本当に心を動かすものをその台所で私と共有した。「わかるかね、マイク」とジョンおじさんは言った。「私は『ザ・ビッグタイム・クックオフ』の一環としてテレビに出られることにわくわくしている。だが、私を一番幸せにしてくれるものは、私にとって大事な人の1人である君と一緒にここに立っていること、そ

して君と私の2人だけで話すことだ。まさにそれは、ずっと昔の夏のある晴れた日に、私の父親が私にしてくれたことに似ている。そしてそれが私の人生を一変させたんだ」

第6問 解法のポイント。

- (1)第6問も、設問の順序とストーリー展開が一致している。
- (2)本文[問題文]を読み進める前に、先に設問と選択肢に目を通し、キーワード(と思われる語句)に下線を引いておく。  
⊕キーワードとは、主要品詞、つまり「名詞」「動詞」「形容詞」「副詞」等。中でも最大のキーワードは「名詞」。  
設問が万一複雑な場合には、余白に要旨をメモ書きしておくのもいい(ただしあくまでメモ書き。これに時間をかけすぎないこと)。
- (3)ここまでできたら、次に本文のまずここを読め。

- ①第1パラグラフと最終パラグラフだけは第1文[冒頭文]と最終文。それ以外のパラグラフは第1文[冒頭文]のみをまず読む。  
⊕第1パラグラフと最終パラグラフについては、2～3行程度の短い構成のものならこの時点で(冒頭と最終文のみと言わず)全部読んでしまってもいい。  
⊕冒頭文の内容が情報としてあまりに不完全な場合は、その直前・直後の英文も読むのもいい。
- ②逆接語で始まる英文(もしくは逆接語が挿入されている英文)、「私は思う」系のフレーズ(I think..., In my opinion, 等)のような語句を含む英文もあればそこも読んでおく。



+ ①逆接語で始まる(または挿入された)英文  
②I think[In my opinion...]などのフレーズを含む英文

Bの設問の表中に、(そのパラグラフの)Content が示されている場合は、それを(対応パラグラフの冒頭文を読む前に)先に読んでおくといい。

(4)次に、この時点での情報で

- ①本文の主旨やテーマを問う設問。⊕Aの最後の設問はこのタイプが多い。
- ②Bの設問。

が解けることが多い。

⊕Bの設問について、そのパラグラフの冒頭文を読んだだけでは答えを特定できない場合は、

- ①(そのパラグラフの)最終文も読んでみる。
- ②それでも答えを特定できない場合は、後回しにする。

(5)それ以外の設問についても、この時点での情報で解けるもの、また消せる選択肢がないかチェックしてみる。

(6)解ききれなかった設問については、もう一度キーワードを(この時点では選択肢も含め)チェックし、本文[問題文]中に対応箇所を探し出していく。

(7)その結果、あるパラグラフを全読みしなければならなくなった場合は、

- ①基本は「読みながら解きながら」。
- ②そのパラグラフを2分割[3分割]し、分割した所までで一旦読みを止め、そこまでの情報で正解となる選択肢や消せる選択肢を探してみる。

(8)下線部の語の意味を問う設問に対する考え方は、第3問Bと同じ。つまり「論理」「指示語」「文脈」をヒントにする。

(9)選択肢の先読みに関するアドバイス。

- ①選択肢が短い、又は読みやすい場合には、しっかり四つとも読んでおく。
- ②選択肢が長い、構造が複雑な場合には、キーワードに下線を引くだけにとどめる。
- ③設問だけで対応箇所を探す十分な情報が手に入った場合には、読まない。
- ④程度があまりに著しい語(甚だしい)語(全て、必ず、絶対、唯一……)を含む選択肢は、不正解の可能性が高い。

## 【全訳】

- (1) オペラは最高度の表現レベルにある人間の声を賛美する芸術形式である。特に、優れた歌手によって演じられるときは、オペラのように興奮を生み出し、心を動かす芸術形式は他にない。そのような歌手は、人間の声のためにこれまでに作曲されてきた最も優れた、そして最も困難な音楽の一部を上演するよう訓練されている。
- (2) オペラは、西洋クラシック音楽の伝統の重要な一部である。それは、劇的な物語を生き生きとしたものにするために、音楽、言葉、演技を使用する。オペラは16世紀の終りにイタリアで始まり、その後ヨーロッパ中で人気となった。長年、オペラは世界中のさまざまな音楽や演劇の発展に対応してきたし、今後もそうし続ける。ここ数十年、現代の録音技術を通して、ますます幅広い聴衆がオペラに触れるようになってきている。一部の歌手の中には、ラジオやテレビ、映画でのパフォーマンスのおかげで、有名人になっているものもある。
- (3) しかし、近年、オペラは深刻な難題に直面している。これらのいくつかの原因は、対処しようがないものである。オペラの現代の難題の1つは、経済的なものである。現代の世界的な景気後退が原因となって、結果として文化団体や芸術家に対して使うことのできる資金が少なくなった。この資金不足は、オペラ歌手やその他の芸術家を支援するのに、どのくらいのお金が支払われるべきかという、より幅広い問題を提起する。社会は、企業経営者に支払われる多額の給与や、スポーツ選手と結ばれる何百万ドルという契約を受け入れているようだ。しかし、オペラ歌手についてはどうだろうか。どういうわけか人々は、芸術家は貧困の中で苦しまなければ創造的になれないという考えを抱いているようだが、これは非現実的である。もし、オペラ歌手を含む芸術家が必要とする支援を受けられないとすれば、貴重な才能が無駄になるのだ。
- (4) 資金不足だけでなく、オペラ業界における資金運用方法が、これまで困難をもたらしてきた。主要な歌手には、一般的にショーを終えた時点で出演料が支払われる。彼らはたいてい、ショーが始まる前の何週間にも及ぶリハーサル期間中、何も受け取らない。役の準備のため、彼らはレッスンやコーチングセッションの費用を支払わなければならない。病気になったり出演をキャンセルしたりすれば、出演料を失うことになる。このシステムの不安定さが、オペラの将来を危険にさらしているのである。
- (5) オペラが直面するもう1つの問題は、大衆娯楽の影響を受けた聴衆の要求にいかに対応するかということである。ポップスの歌手はしばしば、彼らの音楽と同じくらいに彼らの外見に基づいて評価される。それゆえ、オペラ歌手は、この大衆文化の影響を受けた聴衆を相手に演じるために、今や「歌を歌うモデル」であることを期待されている。このような要求は非現実的で、場合によっては有害かもしれない。オペラ歌手は、体重が低すぎれば、マイクなしで大きな劇場やコンサートホールに行き渡るほど大きな声を出すことなど決してできない。歌唱力以上に肉体的な外見を強調すれば、聴衆は最高の状態の人間の声を聞き逃してしまうことになるかもしれないのだ。
- (6) オペラの問題には簡単な解決策はないし、オペラの価値については、多くの異なる意見がある。しかし、毎年多くの若者が、この特別な芸術形式において自らの才能を伸ばす希望と夢を抱いて、音楽課程を受講する。オペラが多くの障害を乗り越え、若い世代を魅了し続けているという事実は、それが依然としてきわめて価値の高い、素晴らしい芸術形式であることを証明している。